

生活上の困りごとを住民同士で支え合う仕組みを構築

【助成事業の概要】

買物や通院の付添い、自宅の外回りの掃除など生活上の困りごとを抱えた高齢者や子育て世帯等を『**全員で助けたり助けられたり**』という仕組みによる支え合いを作る事業です。支え合いには、有償ボランティアの仕組みも加え、孤立を防止するとともに**安心して暮らせる地域**の実現を目的としています。



【助成事業の成果】

支え合いの仕組みを構築・発展させ、地域の安心感を強化させました。また、活動実績が認められ、**住民のニーズ等を行政に伝える役割**を得るとともに、行政の委託事業者にも選ばれました。

【ここが工夫のポイント☆】

利用者をサポートするだけでなく、**利用者の得意分野を活かして支援者としても活躍できる仕組み**を展開したこと。



ピアサポーターによりがん患者の在宅移行を支援する仕組みを構築

【助成事業の概要】

一定の治療を終了したがん患者が退院するにあたり、『**ピアサポーター**』が**身近な相談者**として、今後の治療や在宅での療養生活などについての相談を受ける等、継続的な支援を実施しています。

また有識者やピアサポーターなどの幅広い見地を活かし、在宅移行支援DVDやeラーニング付き専用webサイトを作成し、人材育成や「ピアサポート」の普及に取り組んでいます。

【助成事業の成果】

ピアサポートにより、在宅移行に対する不安が軽減しました。「ピアサポート」に対する教育訓練や広報、基盤仕組みが強化され『**ピアサポート**』の**有用性がみとめられ、地域包括支援センターとの協力**が進んでいます。



【ここが工夫のポイント☆】

地域包括ケアシステムを意識した「ピアサポート」に取り組んだこと。

専門家や市民ボランティアとの協働による認知症カフェを運営

【助成事業の概要】

認知症介護の現状を改善するため、**アセスメントによる介護状況の把握**や情報提供、**専門家との連携による専門相談**や市民ボランティアによる居場所づくりを、家族介護者支援拠点（認知症カフェ）にて実施する事業です。



【助成事業の成果】

認知症の状況の把握を、団体が開発したアセスメントシート等により行い、**適切な情報提供や支援**を実施しました。相談では医療・福祉の有識者と連携したため、**問題の早期発見や深刻化の予防**が図れました。認知症カフェでは、一般の利用者とも触れ合うことで、**認知症に対する理解**が深まりました。

【ここが工夫のポイント☆】

認知症の家族を絶え間なく支援するために**拠点を常設**としたこと。

認知症の方の社会的な役割とつながりを形成

【助成事業の概要】

認知症の人は、社会的な役割を持って人と交流することがあまりなく、**地域で孤立**していることが少なくありません。助成事業では、認知症カフェを社会参加の場として運営し、**認知症の方にも役割をもって参加**していただいています。また、自宅に引きこもりがちな認知症の人の心のケアや外出のきっかけとすることを目的とした「**自宅へお茶を届ける**」という活動は、**認知症の方と一緒に取り組むという新しい試み**が加わっている事業です。

【助成事業の成果】

民生委員や地域包括支援センターと協力することで、引きこもりがちでなかなか既存の支援ではつながりにくい認知症の人やその家族との関係がつけられました。

認知症の方と、一緒に行動することで、支援ニーズも的確にわかり、医療専門機関等への早期支援につながることができました。

【ここが工夫のポイント☆】

認知症の人に「自宅にお茶を届ける」という**具体的な役割を示し**、参加を促していたこと。

